

2019年6月17日
 さくらインターネット株式会社

**さくらインターネットの GPU コンピューティング基盤が、
 情報通信研究機構（NICT）のディープラーニング翻訳の計算機資源として採用
 ～多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」向けインフラとして提供～**

インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）の GPU コンピューティング基盤である「高火力コンピューティング」が、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下、NICT）が研究する「ディープラーニング翻訳の高度化のための計算機資源の借入」として採用されました。

近年の訪日外国人の急増を背景に、日本人と外国人の言葉の壁を超える手段の1つとして、音声翻訳システムのニーズが高まっております。日本政府は「グローバルコミュニケーション計画」※1の中で2020年までに多言語音声翻訳システムの社会実装を目指すと発表しており、より高精度なシステムの開発が急がれています。

昨今、音声翻訳システムの高精度化にはディープラーニングが最も寄与すると言われており、世界中で研究開発が推進されています。日本においては、以前よりNICTが「VoiceTra」※2に代表される多言語音声翻訳システムの研究開発と実証実験を実施しており、本案件ではNICTが推進するディープラーニング翻訳のインフラとして、当社のAIやディープラーニングに最適な物理サーバーをクラウドのような手軽さで利用できる「高火力コンピューティング」が採用されました。当社は、NICTが推進する高精度かつ高速な多言語音声翻訳システムの実現と社会実装を高性能な計算機資源の提供で貢献します。

当社は今後も、さまざまなニーズにお応えするインターネットインフラサービスの提供を目指してまいります。



「VoiceTra」アプリ画面のスクリーンショット

<https://voicetra.nict.go.jp/picture01.html>

<本案件の詳細>

契約先 : 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)
提供規模: 計算用サーバー 109 台
GPU 872 基
総理論演算性能 約 6.09PFLOPS (ペタフロップス) ※3
提供サービス: 高火力コンピューティング

<参考情報>「高火力コンピューティング」について

高性能な物理サーバーをクラウドのような手軽さで利用できる計算資源用に最適化したサービスです。GPU システムを手元で動かしているかのような高い操作性・性能の GPU コンピューティング環境を、すぐに利用できます。



【サービスサイト】

<https://www.sakura.ad.jp/koukaryoku/>

- ※1 「グローバルコミュニケーション計画」とは、総務省が平成 26 年 4 月に、世界の「言葉の壁」をなくすことをミッションとして発表。 http://www.soumu.go.jp/main_content/000285578.pdf
- ※2 「VoiceTra」とは、NICT の音声認識・翻訳・音声合成技術を活用した音声翻訳アプリ。
<https://voicetra.nict.go.jp/>
- ※3 ペタフロップス (PFLOPS) は、コンピュータの処理能力の単位で、Peta Floating-point Operations Per Second の略。Peta は 1000 兆 (10 の 15 乗) であり毎秒 1000 兆回の浮動小数点演算ができることを表す。

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■さくらインターネット株式会社について

本 社 : 大阪府大阪市北区大深町 4 番 20 号
設 立 : 1996 年 12 月 23 日
従業員 : 491 名
資本金 : 22 億 5,692 万円
売上高 : 195 億 146 万円 (2019 年 3 月期)
URL : <https://www.sakura.ad.jp/corporate/>

■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当
TEL : 03-5332-7070 E-mail : press-ml@sakura.ad.jp